

第4章 日常生活圏域について

「日常生活圏域」とは、高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けながら生活を継続できるように、地理的条件・人口・交通事情その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備状況などを総合的に勘案し、地域の特性に応じて市町村内を区分したものです。

奈良市では、第3期介護保険事業計画において地域活動単位である小学校区を基本単位とし、国の指針に基づき人口約30,000人、高齢者人口約6,000人を基準として、中学校区の区域と地域の主な特性を考慮して日常生活圏域を11圏域と定め、地域包括支援センターを中心に圏域内の様々な社会資源の連携体制の強化を進めてきました。

今後においても、日常生活圏域に基づいた地域密着型サービスや介護予防拠点などの基盤整備を進めるとともに、地域包括支援センターを中心に保健・医療・福祉サービス関係機関からボランティアや地域住民まで、地域における様々な社会資源の連携・協力体制の整備を行い、地域包括ケア体制の充実を図ります。

第4章 日常生活圏域の設定

日常生活圏域

番号	圏域名	中学校区	小学校区	人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)
1	若草	若草	鼓阪 佐保 鼓阪北	22,488	5,993	26.6%
2	三笠	三笠	椿井 大宮 大安寺西 佐保川	38,855	7,385	19.0%
3	春日・飛鳥	春日 飛鳥	飛鳥 済美 大安寺 済美南	39,334	8,435	21.4%
4	都南	都南	東市 辰市 明治 常解 精華	30,246	7,139	23.6%
5	平城	平城西 平城 平城東	平城 右京 平城西 神功 朱雀 佐保台 左京	46,289	8,690	18.8%
6	京西・都跡	京西 都跡	都跡 六条 伏見南	37,194	8,294	22.3%
7	伏見	伏見	伏見 あやめ池 西大寺北	37,914	7,934	20.9%
8	二名	二名	富雄北 鶴舞 青和 二名	37,852	7,624	20.1%
9	登美ヶ丘	登美ヶ丘 登美ヶ丘北	登美ヶ丘 東登美ヶ丘	21,877	5,335	24.4%
10	富雄	富雄 富雄 南	富雄南 鳥見 富雄第三 三碓	43,390	9,415	21.7%
11	東部	田原 柳生 興東 都祁 月ヶ瀬	田原 柳生 大柳生 相和 月ヶ瀬 並松 都祁 吐山 六郷	14,371	4,332	30.1%
計				369,810	80,576	21.8%

(人口は平成20年9月1日現在)

小学校区が複数の中学校区にまたがる地区については、便宜上多数の生徒が進学する中学校区に掲げてあります。